

令和8年度 第10回千曲市自転車活用推進計画検討委員会 会議録概要

- 開催日時 令和8年7月1日（水） 午前10時00分～午後0時00分
- 開催場所 千曲市役所 302 会議室
- 出席者 委員：9名（欠席者4名）
アドバイザー：国土交通省長野国道事務所 交通対策課長：久保田 健一
事務局：7名（道路河川課長、建設係長、建設係2名、㈱日本海コンサルタント3名）
関係部局：総合政策課、環境課、市民生活課、健康推進課、観光課
スポーツ課、都市計画課、総務課、教育委員会教育総務課

1 開 会

道路河川課長

2 自己紹介

委員、事務局・関係部局、運営支援者（㈱日本海コンサルタント）の順に自己紹介を行った。併せて、柳ヶ瀬委員、徳武委員、西澤委員、中嶋委員が欠席である旨が報告された。

3 あいさつ

会長（若林）

皆さんこんにちは。梅雨に入り、各地で大雨に関するニュースが報道されています。6月は、私も全国各地へ出かける用事がありましたが、熊本では豪雨の中を移動し、大変な目に遭いました。また、東北にも視察で行きましたが、山形市では、大きな通りで上下方向に自転車通行空間を整備しており、驚嘆しました。様々な地域に行き、刺激を受けております。

今年度4月から、交通反則告知制度、いわゆる「青切符」が自転車にも適用されるようになり、ニュースでは交付件数等が報道されています。また、千曲市では第二次自転車活用推進計画の検討をしているところですが、県でも第二次自転車活用推進計画を策定したり、「長野県自転車の安全で快適な利用に関する条例」が出来たりと、本市の自転車を取り巻く環境も変わってきています。

その中で、4月13日に市内国道18号で、78歳の自転車に乗った男性が軽乗用車にはねられ亡くなったという事故がありました。男性はヘルメットを着用していなかったようですが、ヘルメットを着用していれば助かったのではないかと思います。

一方、良い話題としては、6月にジャパンバイクテクニーク2026という、自作した自転車を使って総延長74kmのコースを走るイベントが千曲市を中心に開催され、NHKでも取り上げられ、うれしく思います。

本日は今年度初回の委員会のため、自転車の活用状況等について事務局から報告してもらいつつ、各委員から意見をいただけたらと思います。

4 会議事項

(1) 千曲市自転車活用推進計画の策定背景

(2) 全国的な自転車施策の状況

(3) 現計画の進捗状況

(ア) R7進捗状況、R8以降スケジュール

(イ) 現計画期間内における施策の実施評価

○資料1～3-4について説明

〔質疑応答〕

副会長（梶）

施策4「事故発生箇所や危険箇所の調査及び対策の実施」について、小学校の通学路は危険箇所の対策を行っているようですが、中学校の通学路も対策できているのでしょうか。千曲市では、部活動の地域移行が進み、各自が活動場所に向かうようになりましたが、学校は各活動場所までのルートや安全性について把握できているのでしょうか。今までは校内での部活動のため、徒歩通学をしていた学生が、自転車を利用するようになることも考えられます。暗くなってからの帰宅や冬場の登下校が安全かどうかは分からないと思います。照明の状態等、自転車利用の安全性について、学校や地域の交通安全ボランティア等と確認・協議を進めてもらえれば、安心して地域でのスポーツ活動を継続していけるのではないのでしょうか。

事務局

千曲市は全国に先駆けて平日休日ともに中学校の部活動の地域展開を進めています。令和5年度、6年度はバスやタクシーの運行等を行っていました。しかし、今年度から持続可能な地域クラブの運営に向けて月会費を徴収するにあたり、予算の使途について公平性を確保するため、補助金を配布し、各クラブの中でやりくりしている状況です。練習場所は、学校内の施設を優先していますが、どうしても学校間移動が発生してしまいます。その場合は、自転車通学以外の生徒も、自転車を使って他校まで移動してよいこととしています。今後も、学校間の経路の安全確保は行っていく必要があります、次期計画では取り入

- れていきたいと考えています。
- 委員（タイラー） 施策 21「地域資源を活かした自転車関連イベントの開催」とありますが、6 月に開催された「ジャパンバイクテクニーク 2026」は対象でしょうか。
- 事務局 ジャパンバイクテクニーク 2026 について、市は後援の立場であり、主催ではありません。
- 委員（タイラー） 施策 27「若年層・高齢者への交通安全教育の充実」について、出前講座の申込は無かったとのことでしたが、サテライト信州ちくまでも、子どもを対象とした自転車教室を行っています。その主催者と連携し、交通ルールの周知を図っていけたら、施策の対象となるのではないのでしょうか。
- 事務局 サテライト信州ちくまとの連携については、調整・検討してまいります。
- 委員（緑川） 施策 17「サイクルレスキューの体制構築」の「サイクルレスキュー」とは何でしょうか。
- 事務局 自転車が故障などで走行困難になった際、簡単な修理等に対応できる自転車修理業者等のことを「サイクルレスキュー」としております。
- 委員（竹内） スポーツ協会の立場として、自転車は健康づくりやまちづくりに必要と考えています。しかし、スポーツ協会の加盟団体で、自転車を活用している団体は無く、スポーツを通じた自転車活用は難しいと感じています。各施策の進捗状況を確認し、まずは庁内関係課の連携が重要ですが、我々もスポーツを通じた連携を市と図っていきたいと思っております。
- 委員（久保） バス乗務員からの意見として、自転車通行空間が整備された狭い車道では、バスが来ても自転車が避けてくれないとの意見も出ています。クラクションを鳴らしづらいですが、なかなか避けてくれないので、そのような場合はクラクションを鳴らしても問題ないのでしょうか。
- 事務局 自転車通行空間が整備されている場合、自転車が優先かと思われれます。クラクションを鳴らしても問題ないかは警察に確認が必要です。
- 委員（渡邊） サイクルトレインについての記載がありましたが、まずサイクルトレインとは、自転車を分解せずに車両内に積み込める列車のことです。弊社では、北しなの線で 4 月から 11 月まで運行していますが、観光利用が主な目的のため、通勤・通学利用者が少ない日中のみを対象としております。また対象区間について、屋代駅～戸倉駅の間は一般のお客が多く、その車両に

	自転車を持ち込むことは現実的でないと考えています。今後、着地点を踏まえ検討してまいりたいと思っております。
事務局	担当部署としても、観光目的でサイクルトレインの活用を検討していますが、時間帯等も考えると、なかなか難しいと考えています。
会長（若林）	例えば戸倉駅はホームの端にスロープがあり、一般利用者が通って良いかは分かりませんが、物理的には自転車を押してホーム間を横断できるようになっています。一方、千曲駅や屋代高校前駅はそのようなスロープは無くホームが途切れているため、折りたたみではない自転車は持ち込みづらい状況です。県やしなの鉄道、千曲市の整備の考え方について整合を取りながら、整備方針を検討する必要があると感じています。
副会長（梶）	以前、軽井沢駅から戸倉駅までの臨時電車で、利用者が少ないときに自転車を乗せて運ぶことができるという取組（湯けむり NEO ネオン号）を行っていたと思いますが、今でもやっているのでしょうか。
委員（渡邊）	定期列車ではなく単発の貸切列車となるため、任意の団体が借りる形になりますが、今でも可能です。
委員（松田）	資料 3-3 記載の指標「日常利用路線の整備延長」について、目標値は 34.5km となっていますが、道路管理者ごとの内訳を教えてください。また現在の達成率が 22%に留まっているとのことですが、整備に向けてどのような課題があるのでしょうか。そのほか、今後の整備方針等で考えていることがあれば教えてください。
事務局	目標値 34.5km には、国道、県道、市道が含まれており、国道は国道 403 号、県道は 77 号線等が指定されています。国道 18 号は大型車両の交通量が多い上、自転車通行空間を整備するスペースが不足しているため除いています。また市道は、16 路線を指定しています。道路幅員の関係もあり、なかなか整備は進んでいませんが、自転車やクルマの安全に配慮しながら整備していきたいと思います。 整備延長については、現計画 P61 に記載の自転車ネットワーク路線の GIS データを基に距離を算出しています。指定した路線すべてを整備できれば良いですが、それはなかなか難しいため、国・県・市で協議しながら連携して整備していけたらと思っています。路線延長の変更についても、次期計画策定の中で検討してまいりたいと思います。

委員（松山） 施策 12「自転車による健康づくりの周知・啓発」の中に、「日常生活の中で自転車に乗ることの健康への効果について資料を使って啓発」とあります。自転車の健康効果について勉強したいため、啓発に使用する資料を次回会議で共有してください。

委員（タイラー） サイクルトレインに関連して一点思いついたことがあります。しなの鉄道では軽井沢リゾート号という快速列車を運行していますが、比較的空いているかと思います。それをサイクルトレインとして活用するのはどうでしょうか。

委員（渡邊） 確かにあまり混んではいないのですが、使用路線に JR 東日本の区間を含んでおり、しなの鉄道線内だけで出来ることではないため、実現のハードルは高いと思います。

なお、軽井沢と妙高高原間を結ぶ信越ラピッド号ではサイクルトレインを実施しています。千曲市の辺りは通過になってしまうため、千曲市の方が利用することは少ないかもしれませんが、サイクルトレイン自体は行っている状況です。ただ、軽井沢リゾート号は、車内で食事もできる観光列車として運用しているため、自転車を持ち込むサイクルトレインとしての利用は想定しておりません。

（４）アンケート調査の実施概要（案）

○資料４について説明

〔質疑応答〕

会長（若林） 事務局からの説明に対し、委員から質問・意見等がありますでしょうか。

質問や意見は特に無いようなので、説明の通りでアンケート調査実施に向け、進めてください。

（５）第二次自転車活用推進計画の改定方針及びスケジュール（案）

○資料５について説明

〔質疑応答〕

会長（若林） 事務局からの説明に対し、委員から質問・意見等がありますでしょうか。

質問や意見は特に無いようなので、説明の通りで計画改定に向け、進めてください。

5 その他

- 委員（タイラー） 「チクマサイクリングクエスト」という自転車で千曲市をまわるスタンプラリーイベントをこれまで4回ほど実施しており、今年の秋も実施することになりました。参加費1,000円で飲食店を中心にまわり、手ぬぐいを台紙にしてスタンプを集めるというイベントです。詳細は配布資料をご確認ください。
- 副会長（梶） 昨年は、チクマサイクリングクエストを実施できませんでした。市がアニメ「Turkey!」を広報していたため、アニメ舞台を聖地巡礼されている方に自転車での移動を勧めてはどうかと市に提案しましたが、実現しませんでした。Turkey!と自転車活用とを絡めてみてはいかがでしょうか。
- 事務局 現在、Turkey!のスタンプラリー第2弾を行っていますが、市内の方は車で回る人が多い一方、県外からの来訪者は持参した自転車やシェアサイクルで回る人も多いようです。著作権の関係上、民間によるイベントを行うことは難しいのですが、市主催のイベントであれば可能性はあるので、今後連携について検討したいと思います。
- 委員（タイラー） 千曲市シェアサイクルについて、利用者が少しずつ増えている一方、1回あたりの利用に対する市の負担が大きいようで、予算の費用対効果でみると低いのではないかと心配しています。シェアサイクルの利用をみると、戸倉駅や観光会館等、同じポート発着の利用も見られるとのことで、それであればシェアサイクルでなくても維持費の安いレンタサイクルとして運営する案や、e-bikeを導入する案等も考えられます。現在そのようなことは検討しているのでしょうか。
- 事務局 政策的な部分は回答できませんが、確かに費用対効果の面からみると難しいところです。ただ、市の一般財源だけで運営することは厳しいと思いますが、国の補助金等も活用しながら現在運営しており、市の負担が軽くなるよう工夫しております。一方、今後は市民への周知もより強化していく必要があると思っております。現在は観光利用が中心となっておりますが、シェアサイクルの今後の在り方については検討が必要だと考えております。

久保田氏（アドバイザー）より、第三次自転車活用推進計画の概要説明
松山委員より、長野県身体活動ガイド「ずくだすガイド（第2版）」の説明

6 閉 会

道路河川課長

以上

【検討委員会の様子】

